

1801  
2010・5/10

# 大阪教育

昭和29年2月16日第三種郵便物認可/毎月10日発行/1部30円(組合員は組合費を含む)/発行・大阪教職員組合・〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11・大阪府教育会館7F/TEL 6768-2330/FAX 6768-2239/daikyoso@daikyoso.jp 編集発行人・加藤秀雄/印刷・関西共同印刷所

## 大教組第180回定期大会

日時 5月29日(土)午前10時開会  
会場 府教育会館8F たかつ

大教組ホームページにアクセスを  
http://www.daikyoso.net/

たくさんの出会いと学び

各地で新歓行事

# はじける

# 若さ

# 笑顔

岸和田・新歓バーベキュー

若者たちが大いに交流、盛り上がりました(4/25)



この間、府内各地で新歓行事が開催されています。教育講座や「先生のがっこう」、レクリエーションやバーベキュー大会、スポーツ大会など多彩です。各地の新歓行事参加をきっかけに、青年教職員・臨時教職員の組合加入があいついでいます。

堺市教組では、4月17日、「先生のがっこう」オープニング講座が約200人の教職員の参加で行われました。参加者の半数以上が青年教職員で、会場は熱気にあふ



### 府障教・新歓バレーボール大会

このスパイクで決まり！職場対抗で熱戦が繰り広げられました(4/25)

れ、講演会のあとの昼食交流会でも交流を深めるなか、組合加入・大教組加入があいつぎました。府障教では、恒例の新歓バレーボール大会が行われ、職場単位での参加、交流と組合加入が進んでいます。岸和田での新歓バーベキュー交流には、約40人が参加。ここでも参加者の大半が若者です。多くの単組・支部でこの間学びの教育講座

# 大教組に加入あいつぐ

も多彩に行われ、「みんながんばる職場づくりの大切さを再認識しました」(堺・青年)「今年」の講座内容は月曜から早速やってみようと思えて元気になりました(寝屋川・青年)などの感想が寄せられ、明日への大きな力となっています。新たな政治状況下、切実な要求実現のチャンスです。あらゆる活動で、「つながる」ことを大切に、大教組への加入の大波をおこしましょう。

### 寝屋川・新任歓迎教育講座

明日の教育実践に役立つ話が大きな力に(4/24)



### 堺「先生のがっこう」オープニング講座

参加者に勇気と希望をあたえた小野田政利さんの講演(4/17)



### 高槻・新歓フェスタ

講師の「学級集団づくり」の話に熱心に聞き入る参加者(4/10)

も、組合は必要だと思います。職場は仲が良くて明るく、よい教育を目指して教職員一丸とっていきましょう。



岸和田市立天神山小学校 高橋 知恵美さん

## 教職員と教育のために

## 新しい仲間の声

みな加入しているから...という気持ちで入った組合。でも、職員の生活や健康や権利を守るために力を合わせる様子にとても影響を受けました。また、それが、子ども達によりよい教育をする事にも繋がっていると気づきました。伸び伸びした子ども達を育てるためにも、組合は必要だと思います。職場は仲が良くて明るく、よい教育を目指して教職員一丸とっていきましょう。

## NEWS FLASH

### 4・25核兵器廃絶府民集会

核兵器廃絶を願う900人が参加した府民集会。府内各地でとりこまれた核廃絶署名は58万筆を超えて集約され、ニューヨークでのNPT(核不拡散条約)再検討会議に届けられました。



### 4・25沖縄県民集会

米軍普天間基地の閉鎖・撤去、県外・国外移設を求め9万人が心をひとつにした沖縄県民大会。「沖縄の声を聞け」と大会決議文を手渡し、鳩山政権に迫りました。



### 第81回大阪メーデー

「働く者の団結で生活と権利を守れ」の実現しよ30人学級などを掲げ1万人以上の参加でおこなわれた第81回大阪メーデー(斎藤公園)。



## 湧水

井上ひさしさんの小説『吉里吉里人』は、政治や国のあり方など

多岐にわたるテーマについて鋭い批判と大胆な問題提起が笑い満載で展開する▼その中で、日本に愛想を尽かして独立した吉里吉里国の憲法9条について、長老がこの条文は日本国憲法から盗んだんだっちゃん、それで惚れ抜いて、それでそっくり掻っ払って来たんだっちゃん」と語る▼文学で表現された憲法九条への熱烈な支持は、そのまま井上さんのものでもあった。大江健三郎さんたちと「九条の会」を呼びかけ、憲法を守る行動の先頭にも立った。そのことが、どれだけ私たちを励ましたことか。全国に7千を超す共同組織が生まれ、「九条を守れ」の世論を大きくしていった▼憲法を守る課題はこれからもますます切実になる。井上さんが亡くなったことが残念でならない。だからこそ戯曲『父と暮らせば』で、原爆で生き残ったことを負い目に思う娘に、幽霊の父が「人間のかなしいかったこと、たのしいかったこと、それを伝えるんがおまいの仕事じゃろうが」と言う言葉を、井上ひさしさんからの信頼と期待のメッセージとして止めて憲法を教育やくらしに生かしていきたいと思う。(K・S)